

事業所名

ことばの発達支援教室つくし

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

10 月

25 日

事業所理念		常に技術を高め、さらに先を見据えた療育の提供を						
支援方針		子どもたち一人ひとりに合わせた療育で明るい未来を育む						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康や生活を維持する為の自己管理やADLの自立を促すトレーニングを行います。 手洗い・着替え・歯磨き・トイレトレーニングなど 生命維持の根幹である栄養確保の為の嚥下訓練は、看護師やリハビリスタッフ、管理栄養士を中心として訓練を行います。 嚥下訓練（間接・直接）・姿勢調整（シーティング含む）・食事動作訓練・栄養管理など						
	運動・感覚	リハビリスタッフによる評価を行い、発達段階に合わせた運動療育を行います。また、保育士へも評価結果について伝達を行い、普段の療育の中でも取り組めるよう図っていきます。 目と手の協応訓練・感覚統合訓練・ビジョン訓練（眼球運動訓練）・バランスや体幹訓練・手指巧緻動作訓練など						
	認知・行動	リハビリスタッフによる評価を行い、発達段階に合わせた認知・行動訓練を行います。 （認知）言語発達訓練・嚥下訓練・構音訓練・聴能訓練・読み書き訓練・高次脳機能訓練（注意・記憶・遂行機能など）・SST（ソーシャルスキルトレーニング）など （行動）目と手の協応訓練・感覚統合訓練・ビジョン訓練（眼球運動訓練）・バランスや体幹訓練・手指巧緻動作訓練など						
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士による評価を行い、発達段階に合わせた訓練や語学習の修正の為の訓練、代償手段の獲得援助を行っていきます。 言語発達訓練・構音訓練・聴能訓練・読み書き訓練・吃音訓練・高次脳機能訓練（注意・記憶・遂行機能など）・PECS®・SST（ソーシャルスキルトレーニング）・買い物訓練など 嚥下訓練（家族内コミュニケーション）						
	人間関係 社会性	家族内、未就学から学校の集団生活、その後の社会生活を考えながら、その時々に必要な専門職が連携を図り、自己認知を促し対人関係や社会性を育みます。 言語発達訓練・構音訓練・聴能訓練・読み書き訓練・吃音訓練・高次脳機能訓練（注意・記憶・遂行機能など）・PECS®・SST（ソーシャルスキルトレーニング）・買い物訓練・調理訓練・目と手の協応訓練・感覚統合訓練・ビジョン訓練（眼球運動訓練）・バランスや体幹訓練・手指巧緻動作訓練など						
家族支援		訓練に同席、または送迎時に事業所内での様子や訓練の状況を説明しております。また、ご家庭や園・学校での困りごと、悩みについてもアドバイス等を行っております。ご家族様が希望される場合は、別に機会を設けて個別面談も行ってまいります。			移行支援		多機能型として、児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援を一貫して行い、一人ひとりのライフステージに合わせたアプローチを行いながら、社会的自立を目指しております。	
地域支援・地域連携		保育園や学校以外にも、他の通所事業所と連携を図りながら、児童にとって最善or最適なアプローチが出来る様、情報交換を密に行っております。特に嚥下や難聴に対して訓練を行う際には、医療機関やクリニックなどと医学的評価を行いながら、医学的評価に基づいて訓練を行っております。			職員の質の向上		事業所内で、運営上必要な災害や虐待に対する研修等はもちろんの事、専門的な知識を学習するための研修（内部・外部）も行っております。また、技術習得のための研修にも積極的に参加しております。嚥下に関しては外部講師と連携し、訓練見学や技能訓練も積極的に行っております。	
主な行事等		お誕生日会やお花見、デイキャンプ、社会科見学、クリスマス会など季節に合わせて参加者（ご家族も含め）の希望を募って行っております。						